

News Letter

2018年

11月

中国四国農政局
香川県拠点

天空のそば！

香川県は温暖な気候を活かして古くから稲作や麦作が盛んな地域ですが、讃岐山脈の山間部に位置し、冷涼な気候のまんのう町琴南地区は、水田が少なく畑作が中心であったため、そばの栽培が盛んに行われてきました。



山頂に広がるそば畑

まんのう町から徳島県美馬市に向かう国道438号線沿岸にある道の駅「ことなみ」から徳島県境の山頂に向かう険しい林道を進むと、一面にそばの棚畑が広がっています。

このそばの棚畑は、まんのう町琴南地区も過疎化が進み、何か地域活性化を目指した取組が出来ないかと地域の有志が思案していたところ、古来より琴南町では、そばを栽培していた文化があることから、そばの栽培技術を伝承していくことで地域活性化を行うことができないかという思いで、平成14年からまんのう町グリーンツーリズム事業の活動の一環としてそばの取

り組みを始めた場所です。

今年、そばの作業体験イベントの参加を募集したところ、42名の申し込みがありました。参加者は、8月の種まきに始まり、11月には刈り取りを行い、今後は12月の脱穀・製粉・新そばの試食会を行う予定になっています。

9月23日には白く咲いたそばの花を見る会が開催され、約200名の参加者が無料でふるまった打ち込みそばを食べながら楽しい時間を過ごされました。



コンバインでの刈り取り風景

また、まんのう「そば生産振興会」の高尾会長は、手打ちそばの体験教室「川奥そば打ち道場」を運営して、県内外からのそば打ち体験希望者にまんのう町の美味しいそばを提供しています。

興味のある方は、「川奥そば打ち道場」でそば打ちにチャレンジしてみたいはいかがでしょうか。

琴南地区のそばは、山頂付近で栽培されている事から「天空のそば」の商品名で道の駅限定で販売されています。

(詳しくはこちら)

<http://www.town.manno.lg.jp/life/detail.php?hdnKey=5414>



ハゼ干ししたそば

「コメ海外市場拡大戦略プロジェクト」31年産輸出用米推進 マッチングイベント（岡山会場）の開催について

中国四国農政局では、31年産輸出用米推進に向けた情報交換と、輸出用米の産地と輸出事業者のマッチングを目的としたマッチングイベントを開催いたします。コメの輸出をお考えの方は是非ご参加ください。

開催日時：平成30年12月18日（火曜日）13時30分～17時00分

開催場所：中国四国農政局第10会議室AB

（岡山県岡山市北区下石井1-4-1 岡山第2合同庁舎 10階）

申込締切：平成30年12月12日（水曜日）

（詳しくはこちら） http://www.maff.go.jp/chushi/press/se_sinko/181122.html



平成30年産水稻の作付面積及び予想収穫量 （10月15日現在）について

香川県の平成30年産水稻の作付面積（子実用）は1万2,500ヘクタールで、前年産に比べ300ヘクタール減少しました。

作柄概況については、5月下旬から6月中旬における日照不足等の影響により、穂数は「やや少ない」となりましたが、7月中旬から8月中旬においておおむね天候に恵まれたことから、1穂当たりもみ数は「平年並み」となりました。これらを総合的に評価し、全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）は「やや少ない」となりました。登熟は、9月以降日照不足で推移したことから、「やや不良」と見込まれます。

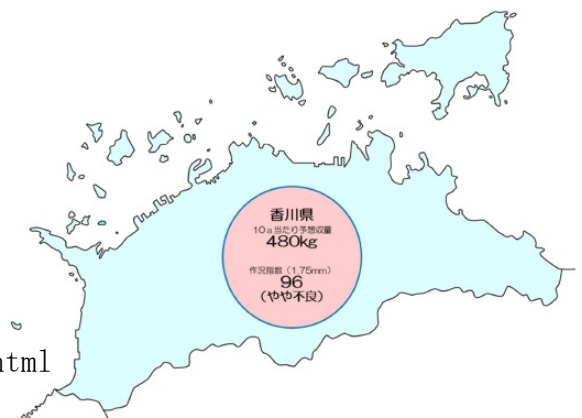
以上のことから、香川県の10アール当たり予想収穫量は480キロ、作況指数は96と見込まれます。

また、予想収穫量（子実用）は6万トンで、前年産に比べ2,000トンの減少が見込まれます。

（詳しくはこちら）

http://www.maff.go.jp/chushi/press/t_toukei/181031.html

図1 香川県の10a当たり予想収穫量及び作況指数（10月15日現在）



◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 香川県拠点

〒769-0019 高松市サンポート3番33号

TEL (087)883-6500(内線3513) FAX(087)883-6504

〈農政局HP〉 <http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>